

有限会社横浜シティーサービスからの報告の概要
(12月5日15時00分までに受けたもの)

- 平成30年11月27日16時頃、専用アルミケース（寸法：約270×700×220ミリメートル）に収納、施錠して同社駐車場にある屋外倉庫に保管することとなっているポータブルレベルメータが所定の位置にないことを同社従業員が確認した。（11月29日、原子力規制庁へ第1報連絡）
- 当該メータには密封線源（セシウム137、3.7メガベクレル）が内蔵されている。
- 最後に当該メータを使用したのは11月10日であり、使用した作業現場周辺や同社周辺等を捜索したが発見には至っていない。
- 以上の状況を踏まえ、本日（12月5日）9時00分に放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律第31条の2の規定に基づく法令報告事象（放射性同位元素の所在不明）に該当すると判断し、原子力規制庁へ報告した。
- また、本日9時15分に当該メータの所在不明について、警察へ届け出た。
- なお、専用アルミケースから取り出した状態で、当該密封線源から1メートル離れた場所における線量率は0.29マイクロシーベルト毎時以下である。
- 引き続き当該密封線源の捜索を行う。

以上